

## 読書の秋といえば…OGIKUBO LIBRARY！



8月から園内で貸出図書を始めました。その名も「OGIKUBO LIBRARY」。すでにお使いのご家庭も多いのですが、簡単に貸し出し方法をお知らせします。インフォメーションに貸出図書のカードが入った冊子が置いてあります。借りたい絵本のカードを事務所までお持ちいただき、引き換えに絵本をお渡ししています。貸し出し期間は2泊3日、借りられる絵本は各ご家庭で1冊までです。9月17日現在で31家庭のご利用があり、貸し出した絵本は延べ193冊になりました。貸し出しリストにある49冊の絵本のうち、よく借りられているベスト3をご紹介します。

第1位「おかしなまちのおかしなはなし」

第2位「くろくんとちいさいしろくん」

第3位「くろくんとふしぎなともだち」

着々と絵本を増やしていますので、どうぞお楽しみに！



### ■1か月に読む本の冊数「読まない」が6割超

文化庁では、国語施策の参考とするのを目的に、平成7年度から毎年「国語に関する世論調査」を実施しています。先日、令和5年度に実施した結果のまとめが発表されました。

1か月に読む本の冊数についての質問では、「読まない」が62.6%、1冊以上読むと答えた人の割合が合わせて36.9%となっています。

平成30（2018）年度は「読まない」が47.3%、1冊以上読むと答えた人の割合が合わせて52.6%でした。※調査方法が変わったため、令和元年度以前の調査結果は参考値として比較しています。

### ■読書量が減っているのはなぜ？

読書量が減っている理由として、16～30代では「情報機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機等）で時間が取られる」ことを6～7割の人があげています。20～40代では、「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」が6割以上にのぼります。ただ、60代、70代になると視力の低下など健康上の理由がかなりの割合を占めます。私も年々老眼が進んで見えづらくなっているので、読むのがおっくうになる気持ちはよくわかります。

### ■読書は必要なのか

ネットで「なぜ読書が必要か」と検索したところ、メリットについて多くの結果が表示されました。

- ・知識や教養が身につく
- ・読解力や記憶力、論理的な思考力、集中力が養われる
- ・想像力や語彙力、表現力が豊かになる
- ・リラックス効果、リフレッシュ効果が得られる などなど。

中には「加齢による認知力の低下を防ぐ」など、私の年代には嬉しい一文もありました。

また、上記の効果はコミュニケーション能力の向上にもつながっていきます。

読書には、学習能力や生きていくために必要な力の向上、人生を豊かにする効果が期待できるというわけです。

先日見た絵本の売り上げランキングの上位は、ドラマやSNSで取り上げられた作品でした。

話題の本もいいですが、読み継がれてきた絵本も大切にしていきたいと感じています。

私としては、現実ではあり得ないような、ファンタジーの要素が入っている作品を

子ども時代にはたくさん楽しんでほしいと思っています。

子ども達は絵本が大好きです。

保護者の方もどうぞ一緒に楽しんでください。

在園のご家庭や地域の皆様の潤いになれますよう、これからも蔵書を増やしてまいります。

「OGIKUBO LIBRARY」ぜひご活用ください！



（飯塚）